

概要: 公園利用が自然生態系へ与える影響の軽減及び植生復元による荒廃の未然防止等による、自然生態系の有する防災・減災機能の維持や、老朽化した利用施設等の再整備による災害時の避難経路および緊急避難場所の確保が課題となっている。人命や国土荒廃の防止の面で課題があるこれらの施設について、登山道の補修、緊急退避所となる避難小屋等の改修、国土荒廃防止に対応した法面崩落防止に資する自然環境整備等の対策を実施する。

府省庁名: 環境省

【事例】十和田八幡平国立公園 蔦温泉園地再整備事業

- 実施主体: 環境省 東北地方環境事務所
- 実施場所: 青森県十和田市
- 事業概要: 利用者の安全確保のため、老朽化した木道及び標識について、再整備を行った。
- 事業費: 全体事業費約8000万円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約8000万円)
- 効果: 木道の整備により安全性が向上したことで、迅速な避難を含めて人的被害を最小限にすることが見込まれる。



老朽化していた木道



再整備により対策をした木道